## **事務事業マネジメントシート**(令和 4年度実績と令和 5年度計画) 令和 5年 5月12日更新 □ 集中改革 プラン関連 マニフェスト 全庁横断 □課題関連 事務事業名 災害復旧事業 関連 4 生活環境の健康 所属部 都市建設部 課長名 原田 和彦 政策 総合 旃 15 防災対策の推進 建設課 担当者名 白濵 ひろ子 計画 所属課 体系 50 災害復旧対策 維持管理班 施策の柱 所属班 (内線) 5260 計」款」項」目 事業連番 予算科目 法令 2 般 11 11561 □単年度のみ ☑単年度繰返 (開始年度 年度) 事業期間 終了、開始年度 □ 4年度で終了 □ 4年度から開始 □期間限定複数年度 年度) ★事務事業の概要(P L A N) 市建設業協会との協定に基づき、災害出動時の実費として消耗品や機械借上料を協会へ支払う 【事業の内容】 災害発生→協会へ災害場所への要請→完了→請求 【業務の流れ】 需用費、役務費、使用料及び賃借料 【主な予算費目】 建設業協会から災害時の連携を密にし、早急な対応ができるよう的確な指示をお願いするとの声が上がっている 【意見や要望】 1 現状把握の部(DO、PLAN) (1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動) (DO) 5年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 豪雨や台風等による災害について適切に対応した。 災害の発生に備えた 【基準に達しなかった理由】 消耗品の購入等を必要とする災害が発生しなかったため (単位) 予算の主な増減の理由 ① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 災害時の機械借上げ等を見直したことによる使用料及び賃借料の減 ②対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等 ②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 建設業協会 ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (単位) 災害時応援をしてもらい実費を支払う ア,災害時に機械を借り上げた件数 \*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 総トータルコスト 全体計画 緊急時に迅速な対応を可能にするため 年度 0 (2) 各指標·総事業費 2年度 3年度 4年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 単位 の推移 実績(決算) 実績(決算) 目標(当初予算) 実績(決算) 予定 見込 見込 ■標(当初予算 件 0 活動指標 ア件 0 0 ② 対象指標 ア件 0 ③ 成果指標 国庫支出金 千田 財都道府県支出金 千円 地方債 事 千四 源 内 その他 **-** PI 訳 投 業 繰入金 千円 一般財源 千円 75 393 200 200 200 200

(A) 事業費計

(A)のうち指定経費

人 正規職員従事人数 人

延べ業務時間 時間

(B) 人件費計 千円

トータルコスト(A) + (B) 千円

費

千円

千円

千円

0

0

0

5

275

1,084

1,084

75

0

0

6

305

1, 192

1, 267

393

0

0

300

1, 195

1,588

0

0

0

7

470

1, 788

1,788

200

0

0

3

300

1, 195

1, 395

200

0

0

3

300

1, 195

1,395

200

0

0

300

1, 195

1,395

200

0

0

3

300

1, 195

1, 395

2 評価の部(CHECK)	1. 接塞左连击器以 3.25 英宝建产帐 4.2 字次公共部	(First
*原則は 4年度の事後計価、たた	し複数年度事業は 4年度実績を踏まえての途中評 ☑達成した	<u>(無)</u> □達成しなかった ⇒【原因 「)
目 ① 4年度目標達成度評価標	豪雨及び台風による災害について適切に対	対応した
成 度 評 価 ② 5年度目標達成見込み	☑目標達成見込みあり⇒【理由】 □ 災害の発生に備える	□目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】5。
③成果の向上余地	□向上余地がある ⇒【理由】「 可能な限り速やかに対応を行っており向」	~
有 効性 評価 ④類似事業との統廃合・連携の可 能性	図他に手段がある「〕、(具体的な手段、事務事業) □統廃合・連携ができる ⇒【理由】「〕。 ☑統廃合・連携ができない ⇒【理由】「〕。 類似事業はない	□他に手段がない →【理由 「)
③事業費の削減余地 効 率	□削減余地がある ⇒【理由】□ 必要最低限の事業費である	☑削減余地がない ⇒【理由 「♡
性 評価 ⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	□削減余地がある ⇒【理由】□ 必要最低限の人員により実施している	☑削減余地がない ⇒【理由 「)
公平 性性 評価	□見直し余地がある ⇒【理由】 5 市で行うべき範囲について行っており適立	
役割 分 8行政の役割分担の適正化 評価	□見直し余地がある ⇒【理由】「 市で行うべき範囲について行っており適立	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3 評価結果の総括(CHECK		
豪雨及び台風による災害について	適切に対応した	
	<ul><li>※)・・・複数選択可</li><li>□事業統廃合・連携</li><li>□事業のやり方改善(有</li><li>□事業のやり方改善(公平性改善)</li></ul>	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成 果 低下
(3) 改革、改善を実現する上で解決す	トベき課題(壁)とその解決策	

所属部

都市建設部

所属課

建設課

事務事業名

災害復旧事業